

社名の由来



「曙」

創業者の納 おさめさんじ 三治が、郷里、岡山県裳掛村虫明港より瀬戸内海の小豆島を望む夜明けの美しさから、「曙」を社名に取り入れました。この地域は景観の優れた場所として平安時代から多くの和歌に詠まれ、虫明港から眺める朝日を平忠盛（平清盛の父）が詠んだ歌「虫明の迫門の曙見る折ぞ 都のことも忘れにけり」から、その辺りを「曙の里」と呼ぶようにもなりました。

曙の理念

私達は、
「摩擦と振動、その制御と解析」により、
ひとつひとつのいのちを
守り、育み、支え続けて行きます。

1999年制定

akebonoは、グループ全体の求心となる理念のもと、akebonoが進むべき道を示すことが重要と考え、1999年に『曙の理念』を制定しました。

「摩擦と振動、その制御と解析」は、akebonoのコア技術です。「制御」が「解析」の前にあるのは、解析する前に、まず、困っているお客様の問題解決に取り組むというakebonoの姿勢を表しています。

守っているのは人のいのちだけではありません。「ひとつひとつのいのち」には、人間だけでなく、草木に至るまで、地球上のあらゆる生物、ひいては地球環境そのものもいのちのひとつとみなし、それらを守り、育み続けていくために、健全な経営のもとで企業価値を創出していくことを定めています。

私たちは、「曙の理念」を実現することで、持続可能な社会の発展に貢献していきます。